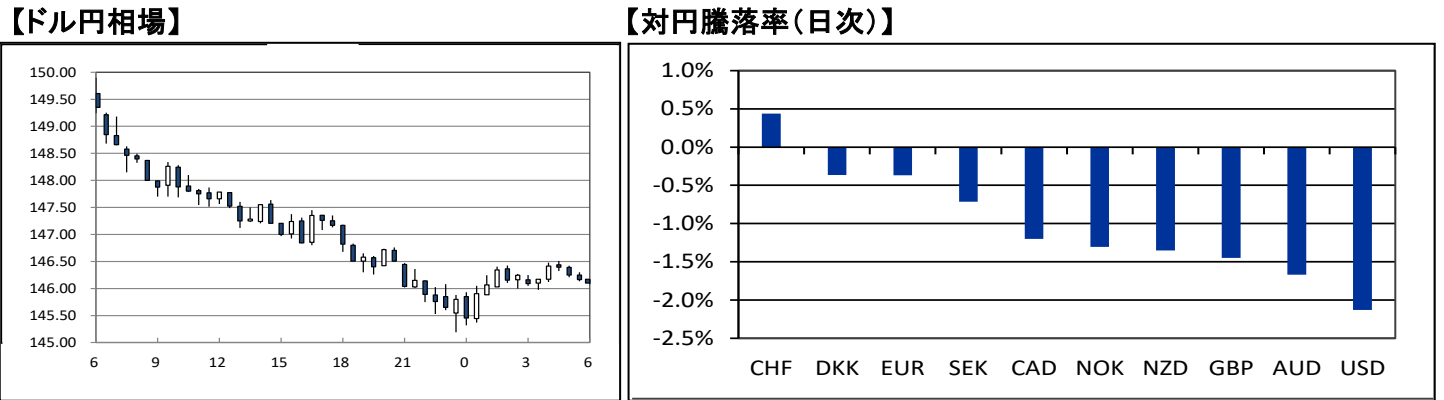


【昨日の市況概要】				公示仲値	147.82
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.91	1.0904	161.31	1.3045	0.6264
SYD-NY High	148.63	1.1147	163.03	1.3207	0.6389
SYD-NY Low	145.19	1.0805	160.16	1.2976	0.6226
NY 5:00 PM	146.10	1.1053	161.24	1.3100	0.6329
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,545.93	▲ 1,679.39	日本2年債	0.7500%	▲0.0800%
NASDAQ	16,550.61	▲ 1,050.44	日本10年債	1.3400%	▲0.1300%
S&P	5,396.52	▲ 274.55	米国2年債	3.6919%	▲0.1470%
日経平均	34,735.93	▲ 989.94	米国5年債	3.7360%	▲0.1373%
TOPIX	2,568.61	▲ 81.68	米国10年債	4.0361%	▲0.0889%
シカゴ日経先物	34,000.00	▲ 2,085.00	独10年債	2.6405%	▲0.0835%
ロンドンFT	8,474.74	▲ 133.74	英10年債	4.5225%	▲0.1195%
DAX	21,717.39	▲ 673.45	豪10年債	4.2500%	▲0.1300%
ハンセン指数	22,849.81	▲ 352.72	USDJPY 1M Vol	12.29%	1.64%
上海総合	3,342.01	▲ 8.12	USDJPY 3M Vol	11.31%	0.92%
NY金	3,121.70	▲ 44.50	USDJPY 6M Vol	10.81%	0.59%
WTI	66.95	▲ 4.76	USDJPY 1M 25RR	▲1.88%	Yen Call Over
CRB指数	303.55	▲ 10.01	EURJPY 3M Vol	11.43%	0.63%
ドルインデックス	102.07	▲ 1.74	EURJPY 6M Vol	11.06%	0.46%

東京	4/2のニューヨーク時間のドル円は149.35でクロスしていたが、トランプ政権が発表した関税政策を受けてリスクオフの様相となり、昨日の東京時間は147.91まで下落してオープン。日経平均株価はオープン後すぐに底を打つ形となったが、ドル円はジリジリと下げ続け3/11以来となる146円台をつけた。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.24レベルでオープン。米関税を受けて米10年債利回りの下落を伴った全体的なドル売りとなり、146.02まで売られる。そのまま明確に反発することなく146.03レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0947レベルでオープン。ドル売りの受け口となったか、1.1147まで急騰。その後若干の売り戻されて、結局1.1088レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、前日に発表された米政権による相互関税が世界経済を減速させるとの思惑は依然根強い事や、米3月ISM非製造業景況指数が予想より悪化した事は一段の重しとなり、145.19まで大幅下落する。午後は円買い一巡となり、一時146.50付近まで戻すも、その後も米金利が低水準で推移する展開が上値を抑え、その後146.10付近まで再度反落し、146.10レベルでクローズ。一方、NY市場のユーロドルは、米政権が打ち出す相互関税案が米景気減速を招くとの懸念が広がり、ドル売り地合いを背景に1.1135まで大幅上伸する。午後はドル売り一巡となり、一時1.1016まで反落。しかし、終盤にかけては再度反発し、1.1053レベルでクローズ。

【昨日の指標等】					
Date	Time	Event		結果	予想
4月3日	09:30	豪 貿易収支	2月	A\$2968m	A\$5400m
	10:45	中 Caixin中国PMIコンポジット/サービス業	3月	51.8/51.9	-/51.5
	16:55	独 サービス/コンポジット業PMI・確報	3月	50.9/51.3	50.2/50.9
	17:00	欧 サービス/コンポジット業PMI・確報	3月	51.0/50.9	50.4/50.4
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	2月	0.2%/3.0%	0.3%/3.0%
	20:30	欧 ECB議事要旨		「4月会合では利下げと一時停止の両方が検討される」	
	21:30	米 貿易収支	2月	-\$122.7b	-\$123.5b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	29-Mar	219k	225k
	22:45	米 サービス/コンポジット業PMI・確報	3月	54.4/53.5	54.2/53.5
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	3月	50.8	52.9
4月4日	01:30	米 ジェファーソンFRB副議長 講演		「経済に不確実性はあるものの、政策金利は良い位置にある」	
【本日の予定】					
Date	Time	Event		予想	前回
4月4日	15:00	独 製造業受注(前月比)	2月	3.4%	-7.0%
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月	0.5%/-1.3%	-0.6%/-1.6%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	2月	-	-0.7%/-2.4%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月	140k	151k
	21:30	米 失業率	3月	4.1%	4.1%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月	0.3%/4.0%	0.3%/4.0%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.60-146.60	1.1000-1.1100	159.50-162.50

【マーケット・インプレッション】	
米関税発動後の市場の混乱は続き、海外市場でドル円相場は145円台前半まで下落。その後も146円台まで戻した後に再度145円台で推移と荒い展開が続いている。	
本日の東京市場も株価を見ながらの荒い展開が予想される。ドル円の145円台は、日米金利差縮小に伴う円高水準より更に円高に振れているレベルであることから、現在はリスクオフによる円高な状況と言える。よって本邦株価が下落すれば、リスクオフから連動して円高に進みやすい状況。政治相場なので相場の落ち着きどころを見出すことが難しいものの、145円は1月の日銀利上げ以降、海外勢がターゲットとしてきたレベル。よって145円を割れる円高水準では円高の勢いが緩まるのではないかと。	